

ビジョン周知ワークショップを通じた市民ニーズ報告

東京工業大学 真野研究室
高木俊輔 鳥居由然 村上優月

目次

1. はじめに

- ・真野研究室について
- ・これまでの活動

2. 活動の流れ

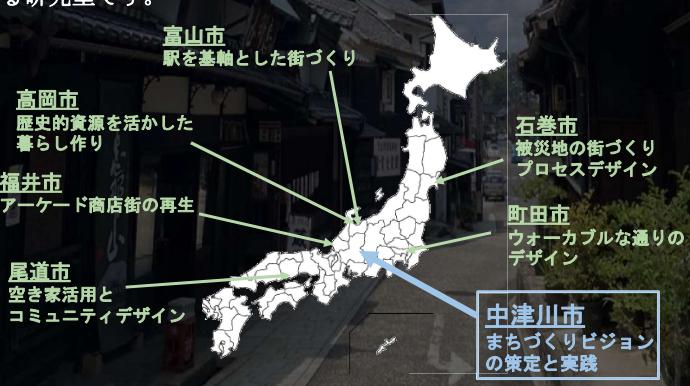
3. 今年度の活動

- ・ミニチュアワークショップ
- ・意見アンケート
- ・事業者ヒアリング

4. 2024年度の活動について

1. 真野研究室について

まちづくりと都市・地域再生を専門に、各地域で調査を行い、現地でまちづくりに取り組む方々とまちづくりの実践を行っている研究室です。



1. これまでの活動

年代	活動内容	キーワード	活動範囲
2017	空き家調査 空き家ツアーデザイン冊子作成	空き家 まちあるき	ゲストハウス改修
2018	空き家活用プラン 天満屋改修WS 学生拠点PJ	学生拠点	学生拠点 coagari整備
2019	改修WS 学生拠点PJ	空き地 情報発信	ゲストハウス完成 星ヶ丘改修
2020	プロジェクトPJ 空き地活用PJ	空き地 暮らし方	中心市街地
2021	林業リサーチ 移住定住推進	公共空間 にぎわい	
2022	公共空間活用PJ 空き家改修	つかう	行政との協力
2023	ビジョン策定 ビジョン普及PJ		

2. 活動の流れ

2022.8. プロポーザル提案が選出

ワークショップにて市民の声を収集

市民の声を元に行政との会議

2023.5. 中心市街地まちづくりビジョン
「つかう中津川」策定

ワークショップにて
新しいまちづくりビジョンを周知

2. 活動の流れ

2022.8. プロポーザル提案が選出

ワークショップにて市民の声を収集

市民の声を元に行政との会議

2023.5. 中心市街地まちづくりビジョン
「つかう中津川」策定

ワークショップにて
新しいまちづくりビジョンを周知

2. 活動の流れ

プロポーザル提出資料（一部）



3. 今年度の活動

2023年度の取り組み

中心市街地まちづくりビジョン策定＆周知

ヒガシミノ団地とともにプロポーザルに応募し、選出されたビジョンの策定及び周知を通じた市民ニーズの発掘を目標に、ワークショップの企画を中心に活動。



3. 今年度の活動

2022.8. プロポーザル提案が選出

ワークショップにて市民の声を収集

市民の声を元に行政との会議

2023.5.中心市街地まちづくりビジョン 「つかう中津川」策定

ワークショップにて
新しいまちづくりビジョンを周知

3. 今年度の活動：まちづくりビジョン策定



3. 今年度の活動

2022.8. プロポーザル提案が選出

ワークショップにて市民の声を収集

市民の声を元に行政との会議

2023.5.中心市街地まちづくりビジョン 「つかう中津川」策定

ワークショップにて
新しいまちづくりビジョンを周知

3. 今年度の活動

1. 広く住民の声を聞くとともにビジョンを周知する

▶④ミニチュアワークショップ

2. 市民の中津川中心市街地に対するニーズを把握する

▶②意見アンケート

3. ビジョンをアクションにつなげるため事業者から意見を聞く

▶④事業者へのヒアリング

3. 今年度の活動：ミニチュアワークショップ

ミニチュアでトライ！
どう“つかう中津川”？

【開催日時と場所】

- ・第1回：7/30(日) @ひと・まちテラス ごちゃまぜフェスタ
- ・第2回：8/14(月) @ひと・まちテラス
- ・第3回：8/15(火) @ルビットタウン

【目的】

- ・“つかう中津川”的周知

【内容】

「これからの中津川をどう使っていきたいか」を旗にかけてマップに刺してもらい、その上で将来のまちの様子をミニチュアで表現してもらいました。



3. 2023年度の活動：ミニチュアワークショップ

ひとまちテラスやルビットタウンなど不特定多数人がつかう場所で開催。まちなかの空き地や施設などをどうやって使ってみたいかをミニチュアで再現してもらいました。



中心市街地にあつたら嬉しい機能や場所を小学生から大人まで幅広い世代に伺うことができました。

3. 今年度の活動：ミニチュアワークショップ



中津高校の授業の一貫でもワークショップを行い、普段中心市街地を利用する高校生からも意見を集めることができました。

3. 今年度の活動：意見投票

概要
ミニチュアワークショップで共感の多かった意見を抽出、市民に投票してもらう。



目的
市民が中津川という場を使って何をしたいと考えているか、中津川にこれから必要なものはなにかを明らかにする。

3. 今年度の活動：意見投票



集まった旗の意見の中で、中津川をつかうことに大きく寄与すると考えられたものを選び、まとめました。

3. 今年度の活動：意見投票

特に多くの投票数を得た「中津川のつかい方」

- 四ツ目川を川遊びやバーベキューができるようにしたい！
 - 特に多かった場所：ルビットタウン、ひと・まちテラス
- にぎわい広場で子供の職場体験ができるマルシェを開催！
 - 特に多かった場所：ひと・まちテラス

学生がつかう

- 食べながら勉強出来たり、教え合いができるカフェがほしい！
 - 特に多かった場所：中津高校、にぎわいプラザ、白木屋
- 駅前に放課後遊べる場所がほしい
 - 特に多かった場所：ルビットタウン、中津高校

中山道をつかう

- 古民家（文化財）におしゃれなカフェを作ってほしい！
 - 特に多かった場所：白木屋

3. 今年度の活動：意見投票

結果から考えられる市民ニーズの傾向

全体を通して、カフェや放課後遊べる場所など、特段の用事もなくても何気なく滞在出来る空間を欲する声が多い。

四ツ目川や古民家の様に、現状あまり使われていない場所の活用が求められる傾向にある。

市民ニーズの読み解きから、ひとまちテラスなど各施設にこれから必要な機能やイベントを考えていく。

3. 今年度の活動：事業者ヒアリング

今後の流れ

協力者の発掘とヒアリング

事業者の方へのヒアリングを続け、事業者側のニーズを明らかにする。

アクションの実行

事業者の方と共に、中津川の良さを生かす活動を展開する。

3. 今年度の活動：事業者ヒアリング

概要

中津川中心市街地で活動する事業者を中心にヒアリングを実施

目的

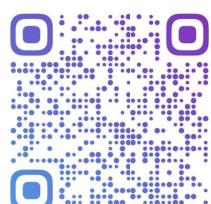
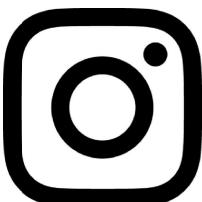
まちなかで活動する事業者が、現在のまち、将来のまちに対して考えていることを聞き出す。

意見

「新町と本町の間のつながりが少ない」
「ひとまちテラスが人が集まる場になっている。これがよりまちなか全体に広がると嬉しい。」

さいごに

SNSで色々と情報発信しています。



MANOLAB.NAKATSUGAWA

4. 2024年度の活動について

アクションプラン実行に対する意見出し

これまで行ってきた活動をまとめ、アクションプランの実行に必要な視点を行政の方々と共有していきます。

真野研企画

中津川中心市街地まちづくりビジョンで定めた内容を念頭に置いて、事業者・市民と共にできる活動を企画し、実践します。